KYOCERA

使用説明書

LS-C8100DN



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

LS-C8100DN をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

国際エネルギースタープログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギースタープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、プリンタは最後に機器を使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を最小にするオートスリープを備えていることが必要です。本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、次の仕様を備えています。

オートスリープ

最後に印刷してから 15 分を経過すると、自動的にスリープモードに移行します。なおスリープモードへの移行時間は、5 分から 240 分の間で変更可能です。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。

オートスリープの初期設定時間	スリープモード時の電力消費量	電源オフ時の電力消費量
15 分（60 分）	15 W（70W）	0 W

（　）はエネルギースタープログラムの基準値です。

両面印刷機能について

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面印刷機能を推奨しています。本機は用紙の両面に印刷できる機能を用意しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙両面に印刷することで、紙の使用量を軽減できます。

再生紙

エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。



本製品は「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律)」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



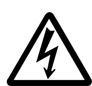
警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



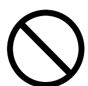
注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

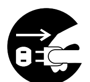
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

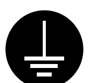
「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷などの事故のないようご注意ください。

高温注意

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

高圧注意

この部分には高電圧が発生しています。感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。

レーザー光に関する警告（本体内部）

DANGER ・CLASS 3B LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION ・CLASE 3B RAYONNEMENT LASER EN CAS D'OUVERTURE.
EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT ・KLASSE 3B LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET.
NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE ・CLASSE 3B RADIAZIONE LASER IN CASO DI APERTURA.
EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION ・CLASSE 3B RADIACIONE LASER CUANDO SE ABRE.
EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! ・AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE.
ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
警告 ・开盖时，可能有3B类 可见激光外溢！应避免激光直接照射。
警告 ・内部 3 B類 可見雷射放射中，請勿隨意打開藍子。
위험 ・CLASS 3B 가시 레이저 광선을 직접 보지 마세요.
警告 ・このカバーの内部ではクラス 3 Bレーザー光が放射されています。
レーザー光にさらされないようにしてください。

定格ラベル

一般的な注意と消費電力を表示しています。

LS-C8100DN

定格総消費電力：1500W
定格入力電流：15A

定格周波数：50/60Hz
定格電圧：100V
定格消費電力：350W
電熱装置の定格消費電力：1000W

京セラミタ株式会社

VCI

MADE IN JAPAN
>ABS<

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。



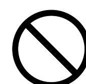
機械を設置する時のご注意

設置環境について

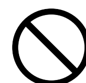


注意

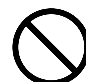
本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

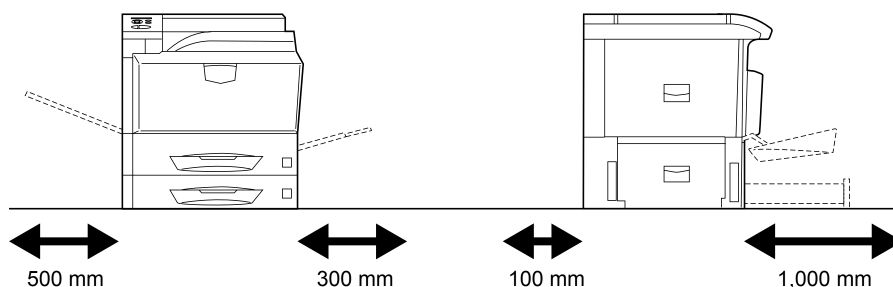


本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械背面には通気口があり、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。





その他の注意事項

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度 10 ～ 32.5 ℃（ただし 32.5 ℃時は湿度 70％以下）
- 湿度 15 ～ 80％（ただし 80％時は温度 30 ℃以下）

ただし、外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温 16 ～ 27 ℃、湿度 36 ～ 65％の範囲で使用することをお勧めいたします。また、下記のような場所は避けてください。

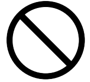
- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて



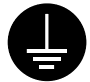
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



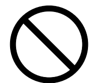
その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて



本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

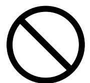


⚠ 取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて



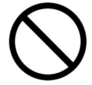
本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



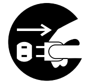
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



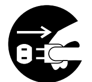
本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。



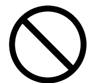
万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



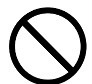
内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



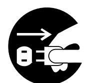


注意

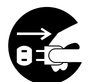
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

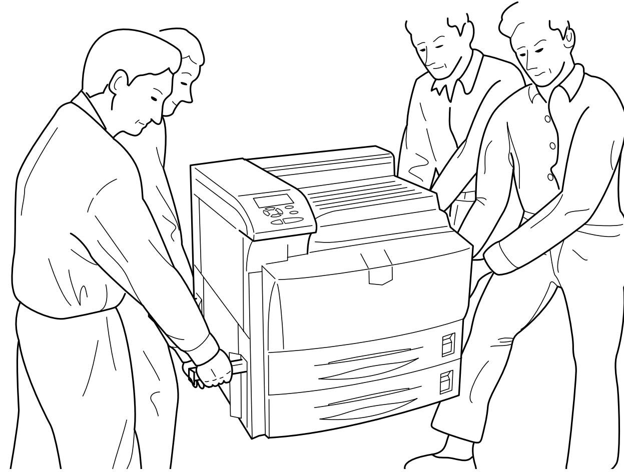


夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

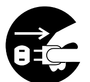


本機を持ち上げたり、動かす場合は、左側にある 2 か所の搬送用ノブを引き出し、搬送用ノブおよび右側の持ち手 2 か所を持つようにしてください。





本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

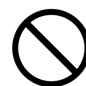
本書に記載されていないことは行わないでください。

消耗品の取り扱いについて

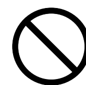


注意

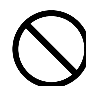
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙を給紙カセットまたは手差しトレイから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- PC-PR201/65A は日本電気株式会社の製品です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- VP-1000 はセイコーエプソン株式会社の製品です。ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PowerPC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- IBM5577 は、日本アイ・ビー・エム株式会社の製品です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT および Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 本プリンタがエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL 6 は、米国 Peerless Systems Corporation が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Systems Corporation（2381 Rosecrans Ave. El Segundo, CA90245, U.S.A.）の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornade™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品は、USB インプリメンターズ・フォーラムの認証試験に合格しています。



IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、２）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、3)「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状の状態で提供されます。

この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

１）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる申し立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の予見の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

A4 横サイズで 1 分間に 32 枚、A3 サイズで 1 分間に 16 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります）。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHP フィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

個別報知音の対応

操作確認、正常終了、準備完了、エラー時のそれぞれについて、個別にブザー音の on/off を設定できます。

トナーコンテナ装着メモリチップ対応

純正品のトナーコンテナに装着されているメモリチップに対応し、トナー残量警告やトナー交換警告などの情報を、操作パネル上に表示します。

ハードウェア

ハードディスクスロット

ハードディスクをプリンタに装着できます。ハードディスクを装着すると、ジョブリテンション機能、仮想メールボックス機能、電子ソート機能が使用できるようになります。

USB（Universal Serial Bus）インタフェースを装備

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

メモリカード（コンパクトフラッシュ）スロット

メモリカードをプリンタに装着できます。メモリカード内のオプションフォント、マクロ、フォームなどを、操作パネルから選択して読み込めます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 500 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 100 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

e-MPS 機能

e-MPS（enhanced Multiple Printing System）機能は、電子ソート機能、ジョブリテンション機能およびバーチャルメールボックス機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

KPDL3（Kyocera Printer Description Language3）

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。Adobe 社の PostScript フォントと互換性がある和文 2 フォントと、欧文 136 フォントを搭載しています。

PDF ダイレクトプリント機能（KM-NET for Direct Printing）

Adobe Acrobat/Adobe Reader などのアプリケーションを起動しなくても、PDF（Portable Document Format）ファイルを直接印刷できます。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI および AppleTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

SNMP（Simple Network Management Protocol）

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケータ名称を説明しています。

2　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバのインストールについて説明しています。

3　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

4　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機の仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

紙づまりの処置と清掃のしかたを説明しています。

使用説明書 応用編（CD-ROM 収録）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Clients 操作手順書（CD-ROM 収録）

KM-NET for Clients を使用して、PC からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

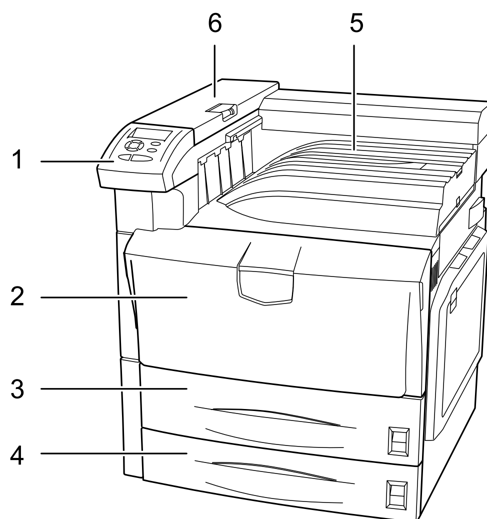
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押します。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	KX **プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 OK をクリックします。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法について書かれています。	**注意**：定着部は高温になっています。やけどのおそれがありますので注意してください。

1　各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面



1　操作パネル

2　前カバー

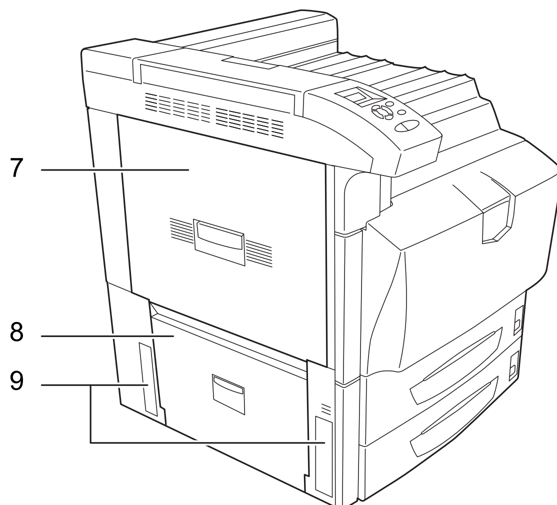
3　給紙カセット 1

4　給紙カセット 2

5　上トレイ

6　上カバー

プリンタ左側

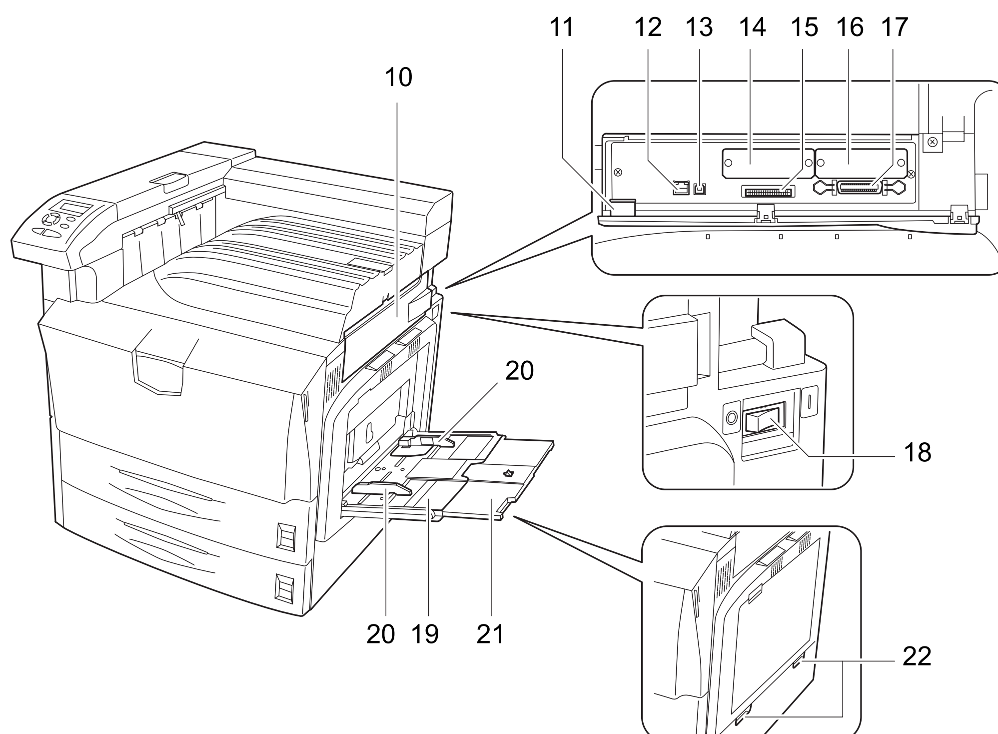


7　左カバー 1

8　左カバー 2

9　搬送用ノブ

プリンタ右側



10 インタフェースカバー

11 メモリカードカバー

12 ネットワークインタフェースコネクタ

13 USB インタフェースコネクタ

14 オプションインタフェースカードスロット（OPT）

15 メモリカードスロット

16 ハードディスク用スロット（HDD）

17 パラレルインタフェースコネクタ

18 メインスイッチ

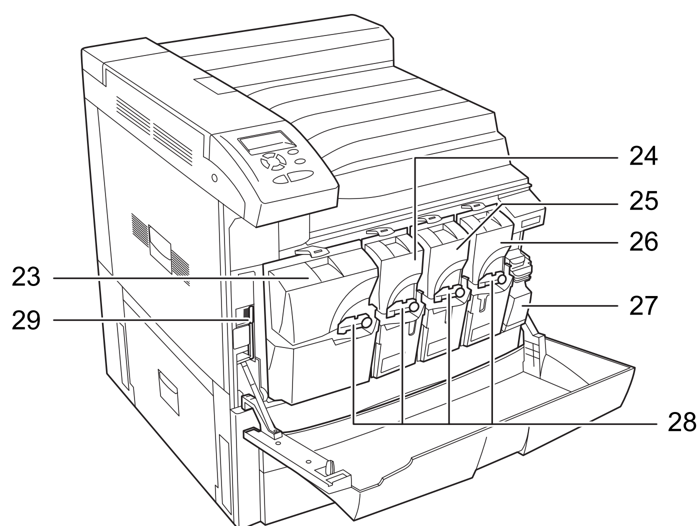
19 手差しトレイ

20 スライダ

21 手差し補助トレイ

22 搬出用取っ手

プリンタ内部



23 トナーコンテナ（黒）

24 トナーコンテナ（イエロー）

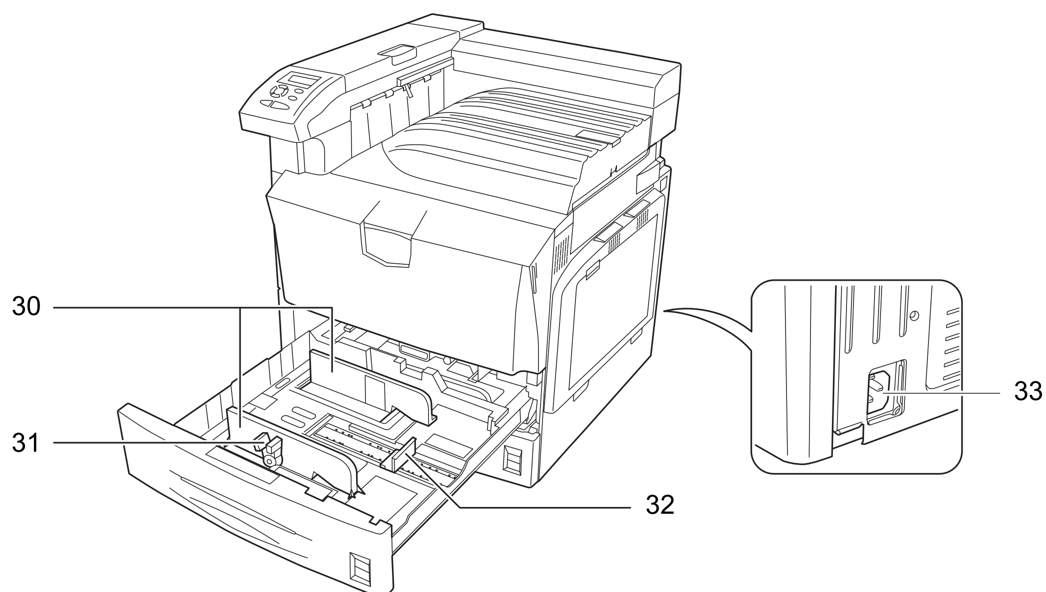
25 トナーコンテナ（シアン）

26 トナーコンテナ（マゼンタ）

27 廃棄トナーボックス

28 トナーコンテナロックレバー

29 清掃ブラシ



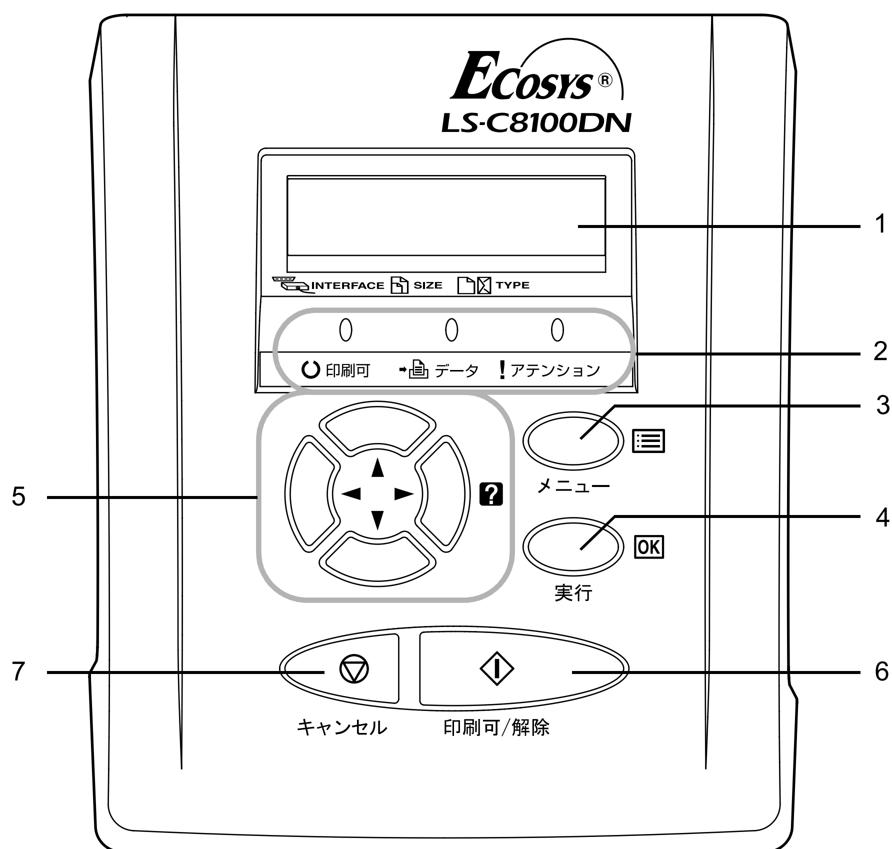
30 横ガイド

31 横サイズ変更つまみ

32 縦ガイド

33 電源コネクタ

操作パネル



1　メッセージディスプレイ
2　インジケータ
3　［**メニュー**］キー
4　［**実行**］キー
5　矢印キー
6　［**印刷可 / 解除**］キー
7　［**キャンセル**］キー

2　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタドライバのインストールについて説明します。

ネットワークの設定

本機は TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、および AppleTalk プロトコルに対応しています。さらにオプションインタフェースカードスロット（OPT）に、オプションのネットワークカードを装着できます。

オプションのネットワークカードについては、ネットワークインタフェースカードの**使用説明書**を参照してください。

1 ［**メニュー**］キーを押します。

2 「**インタフェース　>**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。「**パラレル**」（初期設定）、「**USB**」、「**ネットワーク**」、または「**オプション**」のいずれかが表示され、現在選択されているインタフェースを示します。

3 ［**実行**］キーを押します。「**?**」が点滅します。

```
インタフェース
?  パラレル
```

4 「**ネットワーク**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

```
インタフェース
?  ネットワーク
```

オプションのネットワークカードを設定する場合は、「**オプション**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

5 もう一度、［**実行**］キーを押します。

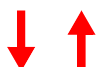
6 ▶ キーを押します。▲ または ▼ キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定します。

＞NetWare
オフ



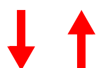
NetWare ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。サブメニューの中で、フレームタイプを**「ジドウ」**、「802.3」、「Ethernet-II」、「SNAP」と「802.2」から選択できます。

＞TCP/IP
オフ



TCP/IP で Windows ネットワークなどに接続する場合は**「オン」**を選択します。サブメニューでは、DHCP、BOOTP、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、ゲートウェイアドレスの各アドレスが設定できます。(IP アドレスについては、次の手順 8 以降を参照してください。)

＞AppleTalk
オフ



AppleTalk ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。

＞ネットワーク インタフェース
ステータスノインサツ　オフ

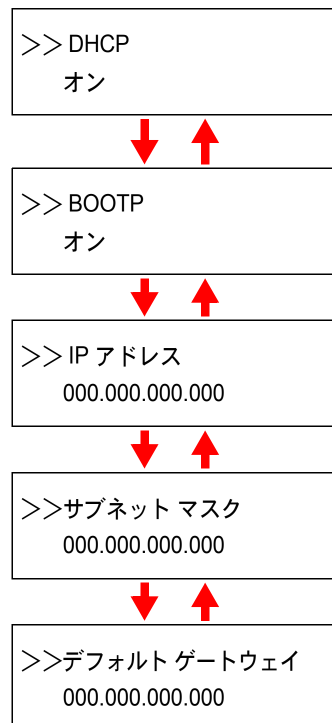
「オン」を選択すると、本機のステータスページを印刷したときに、同時にネットワークステータスページが印刷されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（操作パネルの使いかた）**を参照してください。

7 ここでは例としてネットワークに本機を接続するために、TCP/IP プロトコルを有効にする手順を説明します。同様の手順で「NetWare」や「AppleTalk」を選択できます。

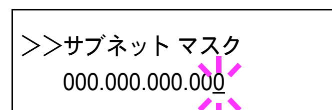
＞TCP/IP　＞
オン

「TCP/IP」が**「オフ」**の場合は、**［実行］**キーを押し、▲または▼キーで**「オン」**を選択して、もう一度**［実行］**キーを押します。

8　▶ キーを押します。▲ または ▼ キーを押すごとに次のように表示が変わります。



9　設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押します。
「**DHCP**」を設定中は、「**？**」が点滅します。「**IP アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定中は、カーソル（_）が点滅します。



10　「**DHCP**」の設定は、▲ または ▼ キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

「**IP アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定は、▲ または ▼ キーで、カーソルが点滅している場所の数字（000 から 255）を変更してください。◀ または ▶ キーを使ってカーソルを左右に移動させることができます。

設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

11　［**実行**］キーを押します。

12　［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

ネットワークステータスページの印刷

ステータスページを印刷した際に、続けてネットワークステータスページも印刷できます。ネットワークステータスページでは、ネットワークインタフェースのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。初期設定は**「オフ」**（印刷しない）です。

参考：オプションのネットワークインタフェースカードによっては、ネットワークステータスページを印刷しない場合があります。詳しくは、ネットワークインタフェースカードの使用説明書を参照してください。

次の手順で設定します。

1 **［メニュー］**キーを押します。

2 **「インタフェース ＞」**が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

3 **［実行］**キーを押すと、**「？」**が点滅します。

インタフェース
？ パラレル

4 **「ネットワーク」**が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

インタフェース
？ ネットワーク

5 もう一度、**［実行］**キーを押します。**「？」**が消えます。

インタフェース ＞
ネットワーク

6 ▶ キーを押します。次に、**「＞ネットワーク インタフェース ステータス ノ インサツ」**が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

7 **［実行］**キーを押します。**「？」**が点滅します。

＞ネットワーク インタフェース
ステータス ノ インサツ？ オフ

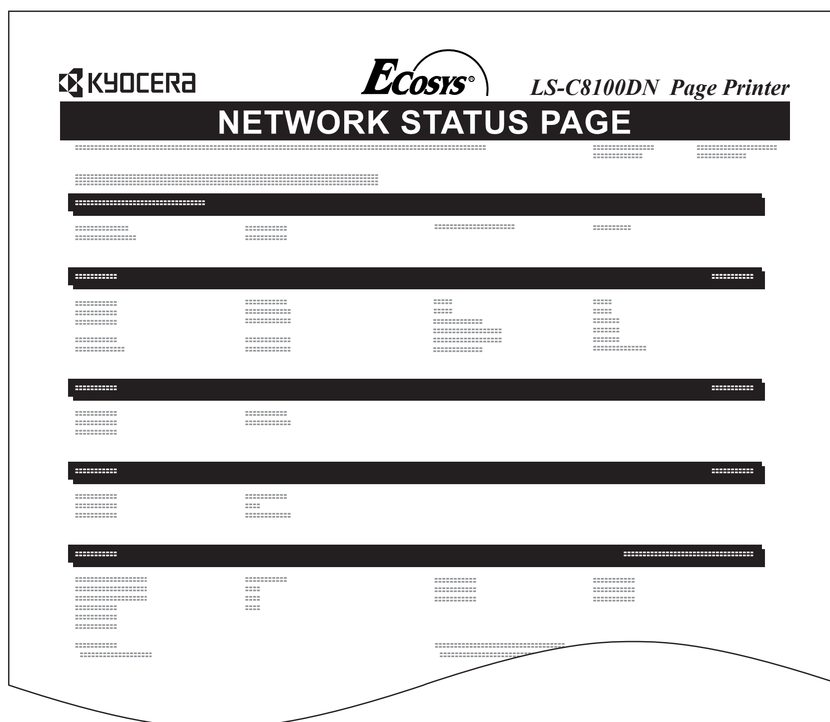
8 ▲ または ▼ キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択します。

＞ネットワーク インタフェース
ステータス ノ インサツ？ オン

9 **［実行］**キーを押します。

10 **［メニュー］**キーを押します。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

ネットワークステータスページの見本



プリンタドライバのインストール

インストールガイドにしたがって本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。使用方法については、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

Windows へのインストール

ネットワークインタフェースまたは USB インタフェース接続の場合

1 PC の電源を入れ、Windows を起動します。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブにセットします。

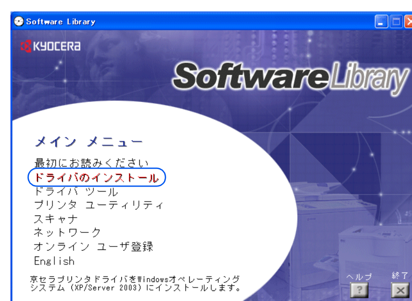


しばらくすると、CD-ROM の使用許諾画面が表示されます。**使用許諾を表示**をクリックして内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。メインメニューが表示されます。

CD-ROM を入れても使用許諾画面が表示されない場合は、Windows のエクスプローラから CD-ROM のルートディレクトリを開き、Setup.exe をダブルクリックしてください。

3 プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードの画面が表示された場合は、**キャンセル**をクリックします。

4 **ドライバのインストール**をクリックし、画面の表示にしたがって、プリンタドライバをインストールします。

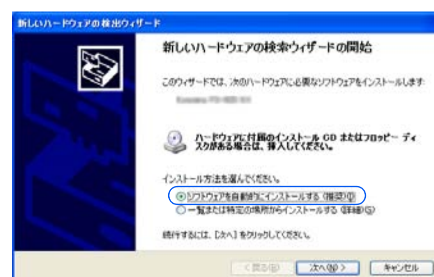


パラレルインタフェース接続の場合

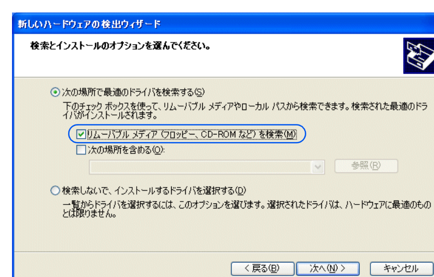
1 PC の電源を入れ、Windows を起動します。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブにセットします。CD-ROM の使用許諾画面が表示されますが、**終了**を押してこの画面を閉じます。

3 プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードが表示されます。**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**を選び、**次へ**をクリックします。



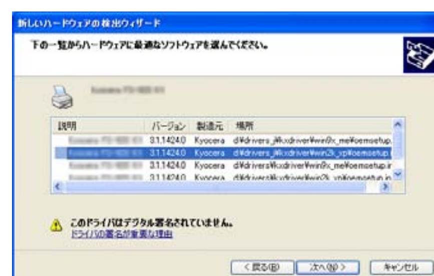
4 **次の場所で最適のドライバを検索する**を選び、**リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索**にチェックマーク（✓）を入れます。**次へ**をクリックします。



5 OS ごとにプリンタドライバのリストが表示されるので、次のようにプリンタドライバを選択して次へをクリックします。

Windows 98/Me を使用している場合：
drivers_j\kxdriver\win9x_me\oemsetup.inf

Windows 2000/XP を使用している場合：
drivers_j\kxdriver\win2x_xp\oemsetup.inf



6 表示されるウィザードの画面にしたがって、プリンタドライバをインストールします。

Macintosh へのインストール

1 本機と Macintosh の電源を入れます。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X または OS 9.x and Earlier をダブルクリックします。

5 Kyocera OS X Japanese x.x または Kyocera Japanese x.x をダブルクリックします。プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

6 インストールプログラムの表示にしたがってプリンタドライバをインストールします。

アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1 給紙カセットに用紙を入れます。

2 アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択します。印刷ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタのリストから印刷するプリンタを選択します。

4 印刷したい部数を**部数**に入力します。

5 OK をクリックします。印刷が始まります。

参考：プリンタドライバのその他の機能については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

3　日常のメンテナンス

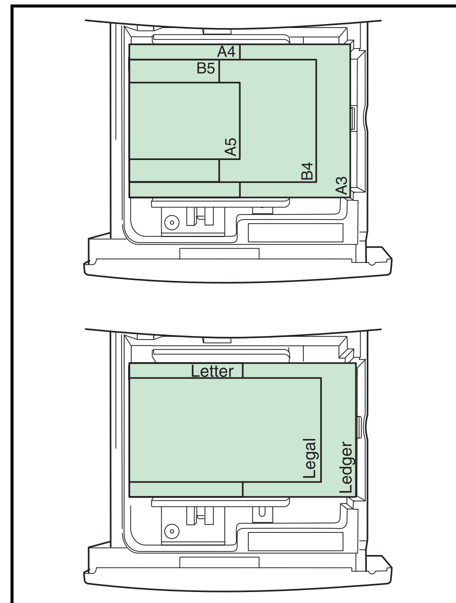
この章では、用紙の補給、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

用紙の補給

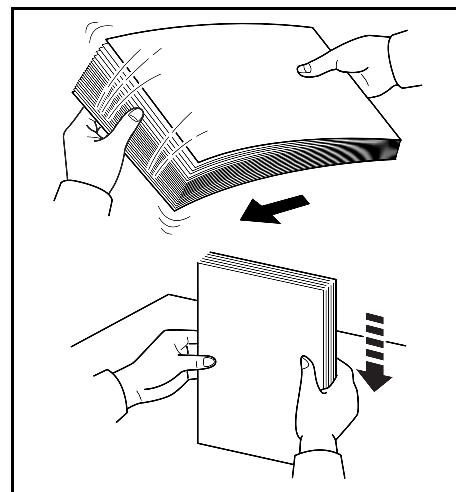
本機は 2 段の給紙カセットと、手差しトレイに用紙をセットできます。

給紙カセットの用紙の補給

給紙カセット 1 は A4 以下の普通紙（80 g/m²）を 500 枚、B4 以上の普通紙（80 g/m²）を 250 枚収納できます。給紙カセット 2 は普通紙を（80 g/m²）500 枚収納できます。

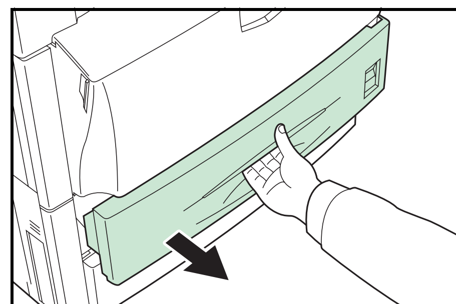


給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。



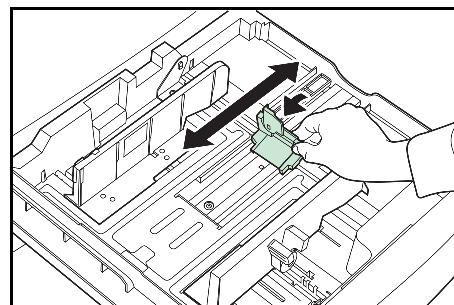
次の手順で、給紙カセットに用紙を補給します。

1 給紙カセットを手前いっぱいに引き出します。



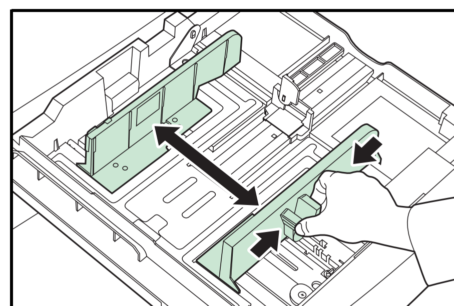
2 縦ガイドを用紙サイズに合わせます。

参考：用紙サイズは給紙カセットに刻印されています。

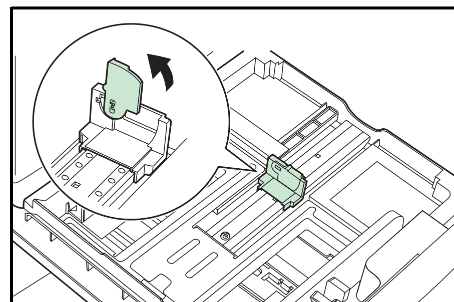


3 横サイズ変更つまみを持って、横ガイドを用紙サイズに合わせます。

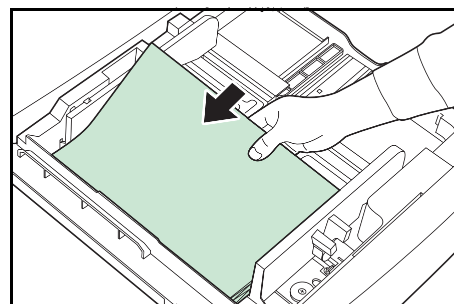
参考：用紙サイズは給紙カセットに刻印されています。



給紙カセット 1 に A4 以下のサイズの用紙をセットする場合は、イラストのように縦ガイドの補助レバーを立てます。



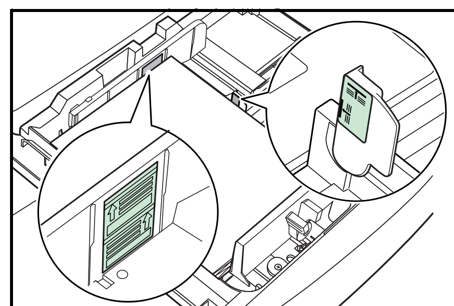
4 用紙を給紙カセットの左端に揃えてセットします。



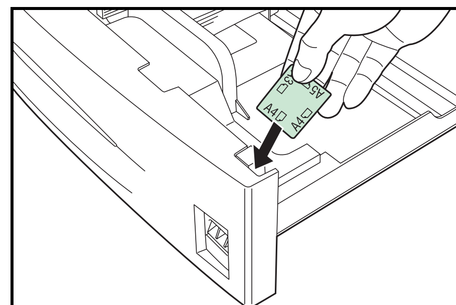
重要：縦サイズおよび横サイズのガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドまたは横ガイドをセットしなおしてください。紙づまりの原因となります。

紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。



5 セットした用紙サイズを示す、付属の用紙シートをセットします。



6 給紙カセットを静かに奥まで押し込みます。

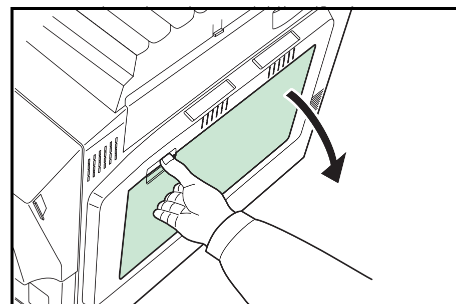
手差しトレイの用紙の補給

普通紙や再生紙の他、特殊紙（60 ～ 220 g/m^2）をセットすることができます。A4 以下の普通紙（80 g/m^2）は 100 枚、B4 以上の普通紙（80 g/m^2）は 50 枚収納できます。OHP フィルムおよび厚い用紙などの特殊紙に印刷するときは、必ず手差しトレイを使用してください。

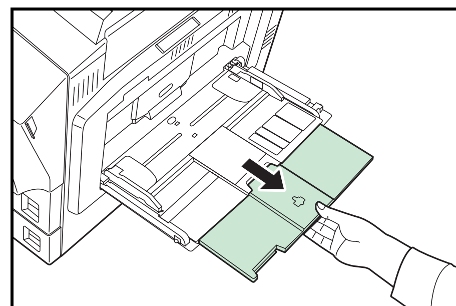
重要：OHP フィルムなどの特殊な用紙に印刷する場合は、用紙の種類設定を正しく行って印刷してください。詳しくは**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。

次の手順で、手差しトレイに用紙を補給します。

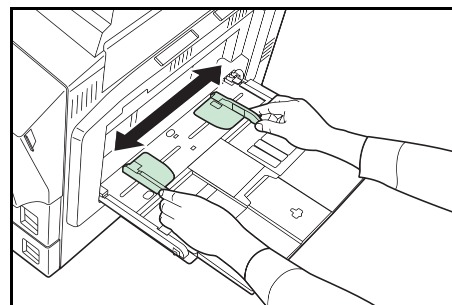
1 手差しトレイを開けます。



A4R 以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばします。

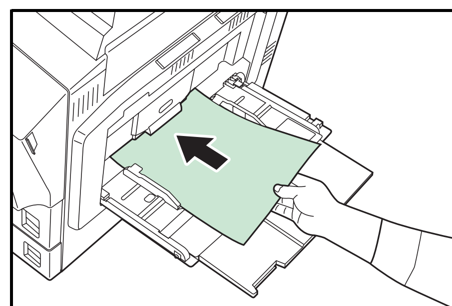


2 セットする用紙の幅にスライダを合わせます。



3 用紙をスライダに沿わせて、止まる位置まで挿入します。

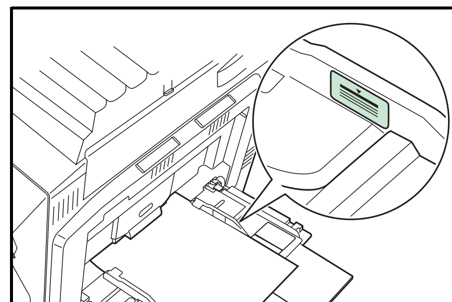
スライダが用紙の端に当たっているか確認します。



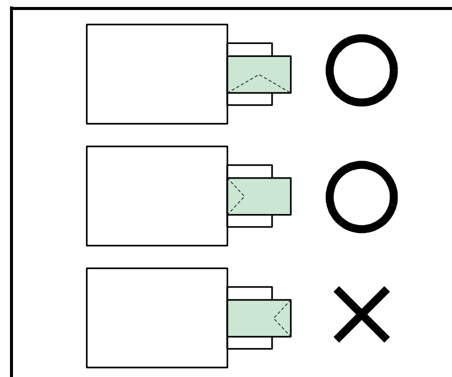
重要：はがきや厚紙など反っている用紙は、必ず反りを直してから使用してください。紙質によっては給紙されない場合があります。

手差しトレイは、使用するときのみ用紙をセットしてください。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。



封筒をセットするときは開封部を閉じたまま、印刷する面を上にしてください。開封部が手前側または右側になるように、スライダに沿わせて止まる位置まで挿入します。

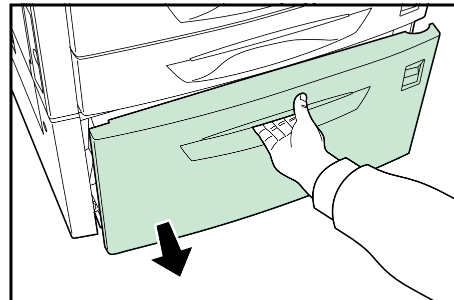


ペーパーフィーダ PF-750（オプション）の用紙の補給

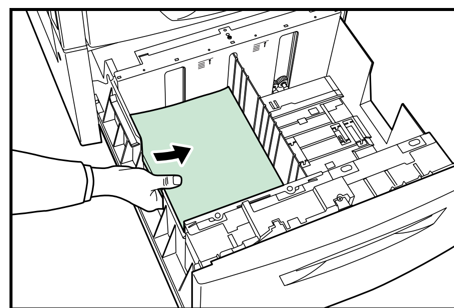
オプションのペーパーフィーダ PF-750 には、A4 または B5 の普通紙（80 g/m^2）を 3000 枚収納することができます。（収納サイズの調整はサービス担当者が行います。）

次の手順で、ペーパーフィーダに用紙を補給します。

1 ペーパーフィーダの給紙カセットを手前いっぱいに引き出します。

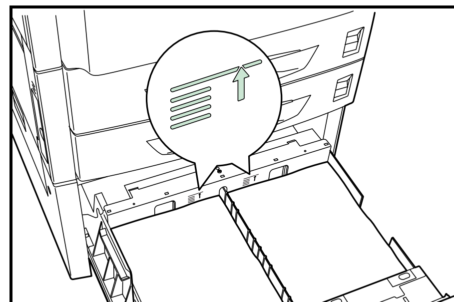


2 用紙を給紙カセットの中央に揃えて、セットします。



参考：紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

用紙は、用紙上限表示を超えないようにセットしてください。



3 給紙カセットを静かに奥まで押し込みます。

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに「**トナーガ スクナクナリマシタ C, M, Y, K**」が表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと「**トナーヲ コウカンシテクダサイ C, M, Y, K**」が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら早めにトナーキットを準備してください。

トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナは、ブラック（K）で約 15,000 イメージ、カラー（C/M/Y）で約 7,000 イメージ印刷するごとに交換する必要があります（A4/ 印刷率約 5 %）。

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナでは、上記と同じ条件でブラック（K）が約 7,500 イメージ、カラー（C/M/Y）が約 3,500 イメージです。

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 清掃用布
- 廃棄用ポリ袋 : 2 枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- 説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

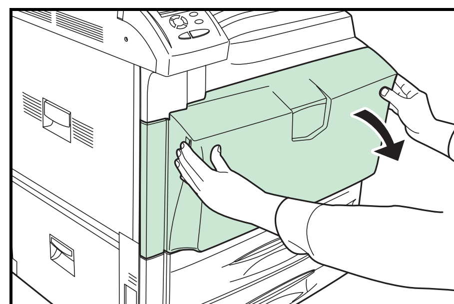
トナーコンテナの交換方法

トナーコンテナの交換の際は、最初に必要なトナーコンテナの色を確認してください。次の例は、ブラック（K）のトナーコンテナの交換手順です。

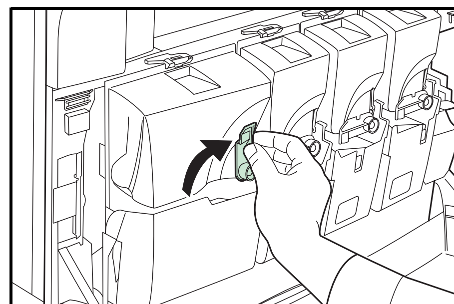
トナーコンテナの交換時は、合わせて廃棄トナーボックスも交換してください。

参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

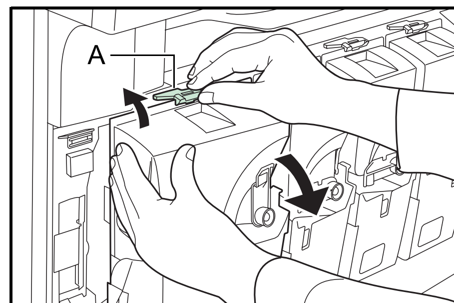
1 前カバーを開けます。



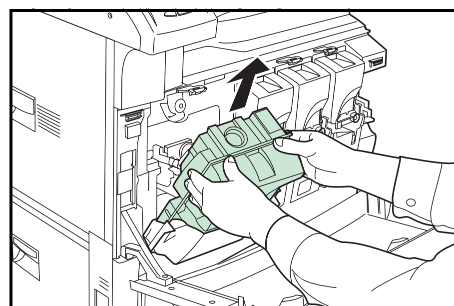
2 トナーコンテナロックレバーを回して縦にします。



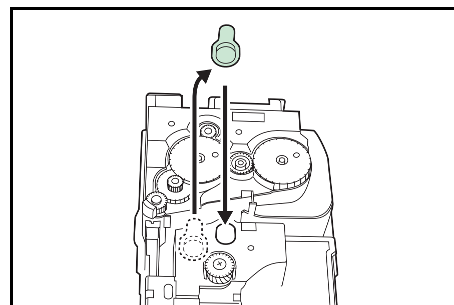
3 トナーコンテナ上部のクリップ（A）を押し上げて、トナーコンテナを手前に倒します。



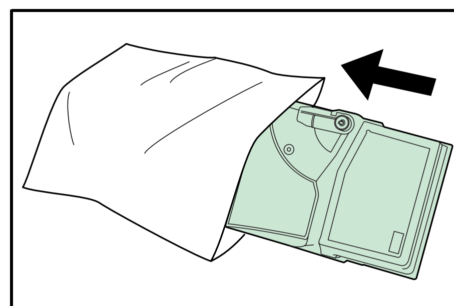
4 トナーコンテナを上に引き出します。



5 古いトナーコンテナのうら側に付いている
キャップで回収口をふさぎます。

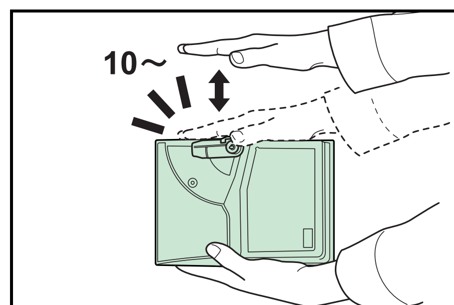


6 古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れます。



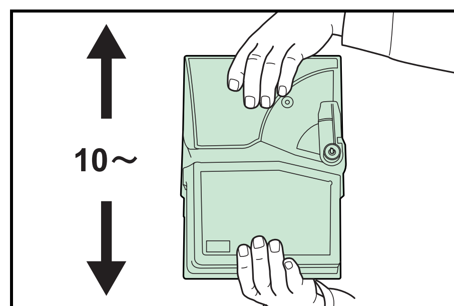
7 新しいトナーコンテナを箱から取り出します。

8 トナーコンテナロックレバーが上側になるようにトナーコンテナを持ち、水平にして、上の側面を 10 回以上叩きます。

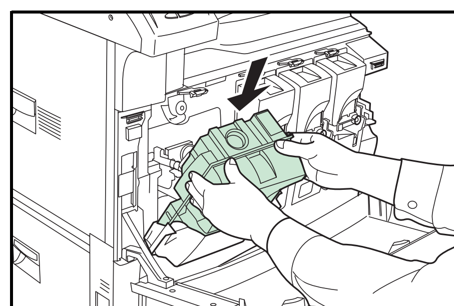


9 トナーコンテナを両手に持ち、縦にして上下に 10 回以上強く振ります。

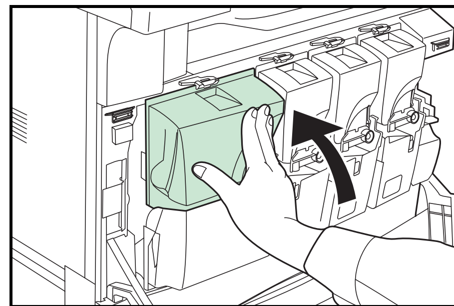
重要：トナーコンテナを十分に振らずに機械にセットした場合は、トナー補給不足によりエラーが発生することがあります。



10 新しいトナーコンテナをセットします。

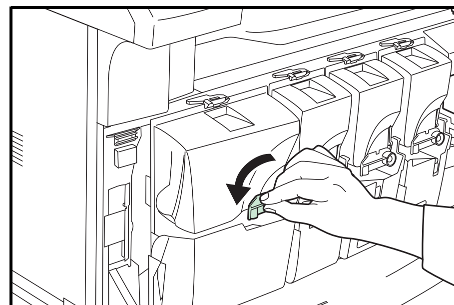


11 トナーコンテナ上部を押し込みます。正しい位置にセットされるとカチッと音がしてロックされます。



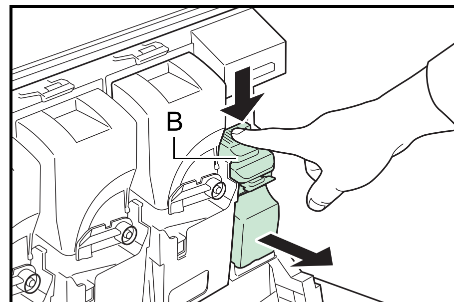
12 トナーコンテナロックレバーを回して、元の位置に戻します。

他の色のトナーも、同様の手順で交換できます。

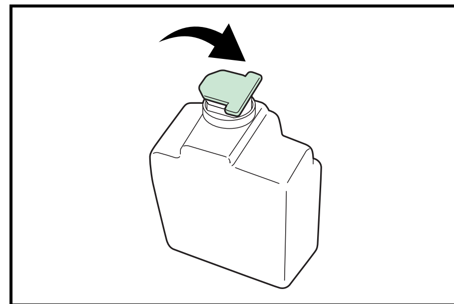


13 廃棄トナーボックスの解除レバー（B）を押して、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り出します。

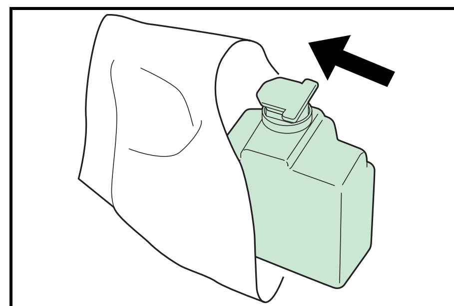
参考：取り出した古い廃棄トナーボックスは、逆さまにしないでください。



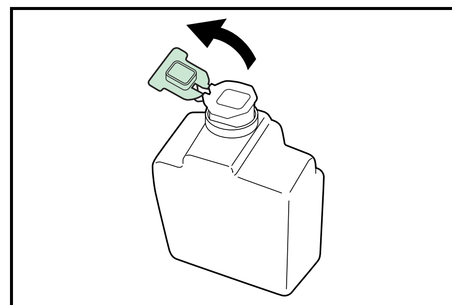
14 古い廃棄トナーボックスに、イラストのようにキャップをします。



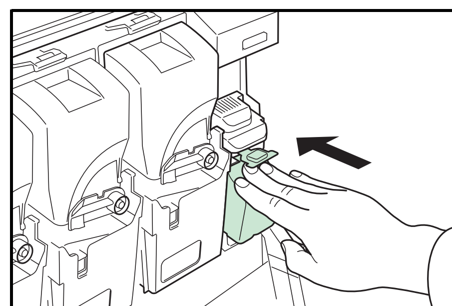
15 古い廃棄トナーボックスを付属の廃棄用ポリ袋に入れます。



16 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けます。



17 新しい廃棄トナーボックスをセットします。



18 前カバーを閉めます。

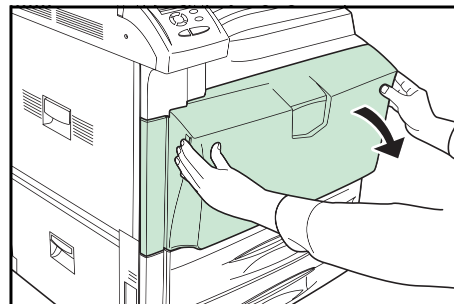
トナーコンテナの交換後は、3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照して、プリンタを清掃してください。

参考：京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

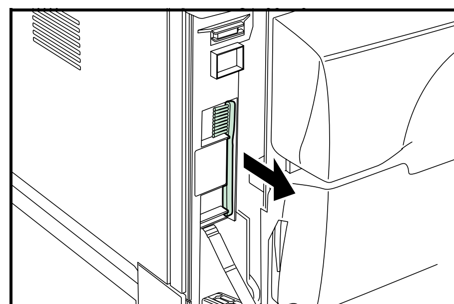
プリンタの清掃

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、プリンタ内部を清掃してください。

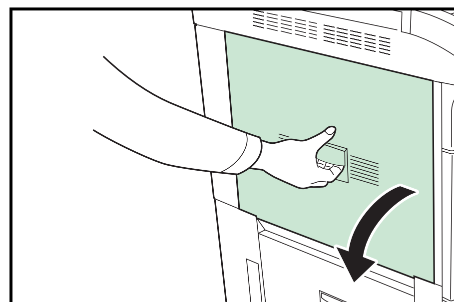
1 前カバーを開けます。



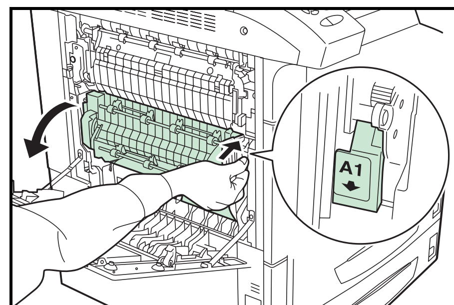
2 清掃ブラシを取り外します。



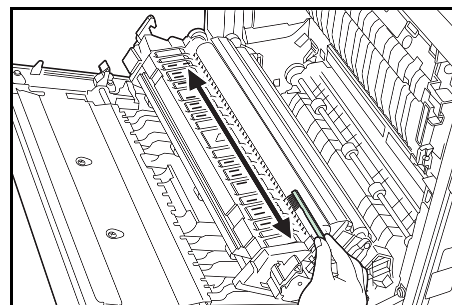
3 左カバー 1 を開けます。



4 両面ユニット A1 を開けます。

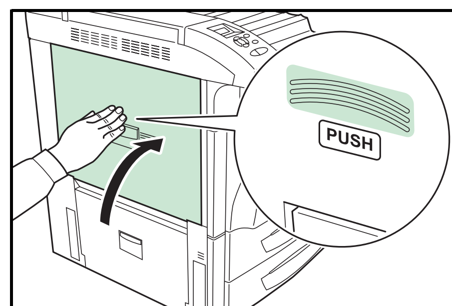


5 図のようにブラシをセパレータ部に沿って左右に動かし、セパレータ部の汚れを取り除きます。



6 両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めます。

重要：左カバー 1 を閉めるときは、指定の箇所を押して、確実に閉めてください。



7 清掃ブラシを元の位置に戻して、前カバーを閉めます。

4 困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。	4-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。	
用紙がつまった。	4-12 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。	
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、コンピュータからのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 インタフェースの仕様については、**使用説明書 応用編 付録（インタフェース）**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションソフトのプリンタ設定等を確認してください。

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
色ずれが起こる ABC	**カラー印刷位置の補正を行ってください。** 操作パネルからカラー印刷位置の補正を実行してください。詳しくは**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
何も印刷しない	**給紙ユニットを確認してください。** 給紙カセット 1 を引き出して、給紙ユニットが正しく装着されているかを確認してください。
白抜けや点、横線が印刷される ABC 123 ABC 123 ABC 123	**ドラムを清掃してください。** 操作パネルを以下の手順で操作し、プリンタ内蔵のクリーニング機構でドラム表面を清掃してください。 1. ［メニュー］キーを押し、「**ソノタ＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 2. ▶ キーを押し、「**＞サービス＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 3. ▶ キーを押し、「**＞＞ドラム**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 4. ［**実行**］キーを 2 度押してください。 「**シバラク オマチクダサイ**」が表示され、ドラムが約 100 秒間回転します。クリーニングが終了するとメッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。
	セパレータを清掃してください。 プリンタの左カバー 1 を開けて、清掃ブラシでセパレータ部を清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

印刷例	処置
白の縦線が入る ABC 123	**レーザスキャナユニットを清掃してください。** 操作パネルを以下の手順で操作し、プリンタ内蔵のクリーニング機構でレーザスキャナユニットを清掃してください。 1. ［**メニュー**］キーを押し、「**ソノタ＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 2. ▶ キーを押し、「**＞サービス＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 3. ▶ キーを押し、「**＞＞ LSU**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 4. ［**実行**］キーを 2 度押してください。 「**シバラク オマチクダサイ**」が表示され、約 10 秒間清掃が行われます。クリーニングが終了するとメッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。
画像が薄い、またはぼやける。 ABC 123 ABC 123 ABC 123	**操作パネルを確認してください。** • 「**トナーガスクナクナリマシタ**」が表示され、［**アテンション**］インジケータが点灯しているときは、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。 • 用紙種類の設定が正しいか確認してください。
	現像器を清掃してください。 操作パネルを以下の手順で操作し、プリンタ内蔵のクリーニング機構で現像器を清掃してください。 1. ［**メニュー**］キーを押し、「**ソノタ＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 2. ▶ キーを押し、「**＞サービス＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 3. ▶ キーを押し、「**＞＞ DEV-CLN**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 4. ［**実行**］キーを 2 度押してください。 「**シバラク オマチクダサイ（カラー チョウセイ チュウ）**」が表示され、約 5 分間清掃が行われます。クリーニングが終了するとメッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

印刷例	処置
背景が一様にうすい色になる ABC 123	**ドラムを清掃してください。** 操作パネルを以下の手順で操作し、プリンタ内蔵のクリーニング機構でドラム表面を清掃してください。 1. ［**メニュー**］キーを押し、「**ソノタ＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 2. ▶ キーを押し、「**＞サービス＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 3. ▶ キーを押し、「**＞＞ドラム**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押してください。 4. ［**実行**］キーを 2 度押してください。 「**シバラク オマチクダサイ**」が表示され、ドラムが約 100 秒間回転します。クリーニングが終了するとメッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。
	操作パネルを確認してください。 「**トナーガスクナクナリマシタ**」が表示され、［**アテンション**］インジケータが点灯しているときは、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
	カラー調整を実行してください。 操作パネルでカラー調整を実行してください。詳しくは**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる ABC 123 123	**プリンタ内部を清掃してください。** プリンタの左カバー 1 を開けて、プリンタ内部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、トナーキットに付属している清掃用布で清掃してください。
印刷位置がずれる ABC	**アプリケーションソフトまたはドライバの印刷設定が正しいか確認してください。** プリスクライブコマンドに誤りがないか確認してください。ある特定のファイルやプログラムだけで問題が起こる場合は、コマンドのパラメータや使い方が間違っている可能性があります。
データと印刷の色味が異なる	**カラー調整を実行してください。** 操作パネルでカラー調整を実行してください。詳しくは**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。「**サービス ヲ オヨビクダサイ**」または「Call service」が表示された場合はプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、［**キャンセル**］キーを押してください。

メッセージ	処置
Call service F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「**###**」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Call service F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
e-MPS ヲホゾンデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	e-MPS 機能を使った印刷時に、ハードディスクや RAM ディスクの容量が不足している、またはハードディスク未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
Error.power off. F###	電源を切ってから再度入れなおしてください。このメッセージが再度表示されたら「**###**」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
ID ガチガイマス	プライベートプリントまたはジョブ保留の印刷時に、入力したアクセスコードとプリンタドライバで設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。プライベートプリントやジョブ保留については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。
KPDL エラー　## カイジョ ヲ オシテクダサイ	KPDL（PostScript Level 3 互換のページ記述言語）のエラーです。印刷を再開するために［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。モード選択メニューから「**>KPDL エラー ノ インサツ**」を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
MK ヲ コウカンシテクダサイ [#]	メンテナンスキット A または B の交換が必要です。メンテナンスキットは、約 300,000 イメージの印刷ごとに交換します。「#」に A または B が表示されます。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
RAM ディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	RAM ディスクエラーが起こりました。「**##**」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 4-11 ページの **RAM ディスクエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
VMB ガ イッパイデス	バーチャルメールボックスの容量が不足しています。バーチャルメールボックス内のジョブを出力してください。バーチャルメールボックスについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。

メッセージ	処置
インタフェースシヨウチュウ	使用中のインタフェースの設定を、操作パネルで変更しようとしました。このインタフェースのプリントジョブが完了するまで待ってください。
ウエ トレイ ノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約 500 枚まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
ウエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉めてください。
オナジ メモリカード ヲ サシテクダサイ	誤ったメモリカードを挿入しています。メモリカードを抜いて、正しいメモリカードをスロットに入れてください。プリンタは再びデータの最初から読み取ります。
カセット # ヲ イレテクダサイ	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。
カセット # ニ ヨウシガアリマセン	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元（給紙カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダ）に、要求された用紙を補給してください。 プリンタの状態を示すメッセージ（**「プリント デキマス」**、**「シバラク オマチクダサイ」**、**「データ ショリチュウデス」**、**「ページガ ノコッテイマス」**、**「ジドウ カイページチュウ」**）が交互に表示されます。（コピー枚数を 2 枚以上に設定している場合、**「データ ショリチュウデス」**は、交互表示されません。）
カセット 1 カラ キュウシシマス （用紙サイズ / 用紙種類）	* 印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。給紙元は数字で表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
カミヅマリデス ###############	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、**「#...#」**に表示されます。詳しくは 4-12 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
キュウシユニット ヲ カクニンシテクダサイ	給紙ユニットが正しく装着されていません。給紙カセット 1 を引き出してください。給紙ユニットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。
サービスヲ オヨビクダサイ ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。**「#」**に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。**「#」**の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
シテイガイ ノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着しているトナーが指定外品の場合に表示されます。 一度「トナー ガ スクナクナリマシタ」や「トナーヲ コウカンシテクダサイ」が表示されたトナーコンテナを、同機種であっても他のプリンタに装着した場合は、このメッセージが表示されることがありますが、そのまま使用しても問題ありません。
スロット ガ チガイマス ソウチャクシナオシテクダサイ	• オプションのハードディスクがネットワークインタフェースカードのスロット（OPT）に装着されています。HDD スロットに装着してください。 • オプションのネットワークインタフェースカードがハードディスクのスロット（HDD）に装着されています。OPT スロットに装着してください。

メッセージ		処置
テザシ ニ ヨウシヲ イレテ カイジョ ヲ オシテクダサイ		KPDL エミュレーション選択時に、手差しトレイが優先モードの場合は、手差しトレイからの印刷は 1 枚ごとにこのメッセージが表示されます（手差しトレイモード）。手差しトレイに用紙が正しくセットされていることを確認して、**［印刷可 / 解除］**キーを押してください。手差しトレイの優先モードについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
テザシカラ キュウシシマス （用紙サイズ / 用紙種類）	*	プリンタに印刷データと一致した給紙カセット（用紙サイズ / 用紙種類）がありません。手差しトレイに用紙を入れて**［印刷可 / 解除］**キーを押すと印刷を再開します。印刷データと一致しない用紙を手差しトレイに入れた場合、紙づまりが発生するおそれがあります。 異なったサイズの用紙から印刷するには、**「ダイヨウキュウシシマスカ？」**が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。そして、希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。給紙元を設定後、**［実行］**キーを押すと、印刷が再開されます。**［メニュー］**キーを押すと、**「ヨウシノセッテイ >」**が表示されます。▶ キーを押すと、用紙種類の設定メニューが表示されます。正しい用紙種類を設定した後、**［実行］**キーを押して印刷を開始します。
トナー ガ スクナクナリマシタ C,M,Y,K		トナーが少なくなりました。表示されている色の新しいトナーコンテナ（シアン、イエロー、マゼンタ、ブラック）に交換してください。詳しくは、3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
トナーコンテナ ヲ カクニンシ カイジョ ヲ オシテクダサイ		トナーコンテナが正しく装着されていません。トナーコンテナを正しく装着してください。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
トナーヲ コウカンシテクダサイ C,M,Y,K		表示されたの色の新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。例えば、**「トナーヲ コウカンシテクダサイ C,K」**が表示された場合は、シアンとブラックのトナーを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。
ナカオリ トレイ ノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ		オプションのブックレットフォルダの中折りトレイに用紙がたまっています。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
ナカオリトレイ ヲ ソウチャクシテクダサイ		オプションのブックレットフォルダの中折りトレイが正しく装着されていません。中折りトレイを正しく装着してください。
ナカオリユニット ヲ ソウチャクシテクダサイ		オプションのブックレットフォルダ の中折りユニットが正しく装着されていません。中折りユニットを正しく装着してください。
ハードディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ		ハードディスクエラーが起こりました。**「##」**にそのエラーコードが表示されます。詳しくは 4-11 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ハードディスク ノ フォーマット ヲ シテクダサイ		プリンタに装着されたハードディスクがフォーマットされていません。ハードディスクをフォーマットしてください。詳しくはハードディスクの使用説明書を参照してください。
ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ		廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。

メッセージ	処置
ハリ ヲ ホキュウシテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	オプションのドキュメントフィニッシャのステープル針がなくなっています。ドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照して、針ケースを交換してください。ステープルをしないで印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
ハリ ヲ ホキュウシテクダサイ	オプションのドキュメントフィニッシャのステープル針がなくなっています。ドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照して、針ケースを交換してください。
パンチクズ ヲ カクニンシテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	オプションのパンチユニットのパンチくずボックスがいっぱいになっています。ドキュメントフィニッシャ DF-710 の使用説明書を参照して、パンチくずを取り除いてください。印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
パンチクズボックス ガ アリマセン	オプションのパンチユニットのパンチくずボックスが正しく装着されていません。ドキュメントフィニッシャ DF-710 の使用説明書を参照して、パンチくずボックスを確実に装着してください。
パンチクズボックス ガ イッパイデス	オプションのパンチユニットのパンチくずボックスがいっぱいになっています。ドキュメントフィニッシャ DF-710 の使用説明書を参照して、パンチくずを取り除いてください。
ヒダリカバー # ヲ トジテクダサイ	プリンタの左カバーが開いています。表示された番号の左カバーを閉めてください。
ファイル ガ アリマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスク、RAM ディスク、またはメモリカードに指定したファイルがありません。または、バーチャルメールボックスのトレイにデータがないか、指定したトレイがありません。ハードディスク、RAM ディスク、メモリカードについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（ストレージ装置の操作）**を参照してください。バーチャルメールボックスについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
フィニッシャ トレイ ## ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	オプションのドキュメントフィニッシャ DF-710 のトレイに用紙がたまっています。表示されているトレイから用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
フィニッシャ ノ カバー ヲ トジテクダサイ	オプションのドキュメントフィニッシャのカバーが開いています。カバーを閉めてください。
フィニッシャ ノ トリツケガ フカンゼンデス	オプションのドキュメントフィニッシャが正しく装着されていません。ドキュメントフィニッシャを一度プリンタ本体から引き離して、正しく装着してください。
フクスウインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスクあるいは RAM ディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。ハードディスクを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタの内部メモリが不足しているため、エラーが起こりました。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。メモリを増設して、印刷をやり直してください。
マエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの前カバーが開いています。前カバーを閉めてください。
メールボックス ノ カバーヲ トジテクダサイ	オプションのメールボックスのカバーが開いています。カバーを閉めてください。
メールボックストレイ　## ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	オプションのメールボックスのトレイに用紙がたまっています。表示されているトレイから用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
メモリ ガ フソクシテイマス	プリンタの内部メモリが不足しています。メモリを追加してください。または、不必要なダウンロードフォントやマクロを削除してください。
メモリーオーバーフロー カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
メモリカード エラー　## カイジョ ヲ オシテクダサイ	メモリカードエラーが起こりました。「**##**」にエラーコードが表示されています。詳しくは 4-11 ページの**メモリカードのエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
メモリカード エラー 　カード ガ ヌカレマシタ	読み取り中にメモリカードが抜かれました。同じメモリカードをスロットに入れると、プリンタは再びデータの最初から読み取ります。「**オナジ メモリカード ヲサシテクダサイ**」も参照してください。
メモリカード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	メモリカードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。メモリカードをフォーマットしてください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（ストレージ装置の操作）**を参照してください。
リョウメンインサツデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと片面で印刷を行います。

*　/ で区切られたメッセージは交互に表示されます。

記憶装置のエラーコード

ハードディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	ハードディスクのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定したファイルがハードディスク内にありませんでした。
06	ハードディスクに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
10	ホストデータがハードディスクにスプールされているので、フォーマットできません。**「プリント デキマス」**になってからフォーマットしてください。
85	バーチャルメールボックスのトレイの名称が不正です。正しい名称を設定してください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

メモリカードのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	メモリカードがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応するメモリカードを挿入してください。詳しくは**使用説明書 応用編 4 オプション**を参照してください。
02	メモリカードが装着されていません。メモリカードの使用に必要な環境を確認してください。
04	メモリカードの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルがメモリカード内にありませんでした。
06	メモリカードに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。

RAM ディスクエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

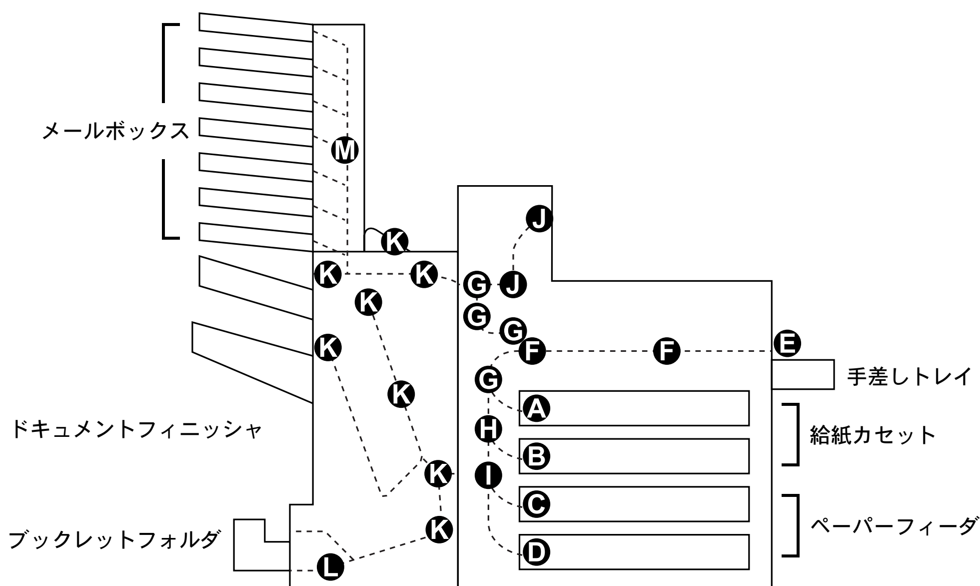
コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
05	指定したファイルがディスク上にありませんでした。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。



紙づまりメッセージ	紙づまりの場所	内容	参照ページ
カミヅマリデス カセット 1	A	上段の給紙カセットまたはプリンタ内部で紙づまりを起こしています。	4-14 ページ
カミヅマリデス カセット 2	B	下段の給紙カセットまたはプリンタ内部で紙づまりを起こしています。	4-16 ページ
カミヅマリデス カセット 3	C	オプションのペーパーフィーダの給紙カセットで紙づまりを起こしています。（PF-710 の上段、PF-750）	4-17 ページ
カミヅマリデス カセット 4	D	オプションのペーパーフィーダの給紙カセットで紙づまりを起こしています。（PF-710 の下段）	4-17 ページ
カミヅマリデス テザシトレイ	E	手差しトレイで紙づまりを起こしています。	4-18 ページ

紙づまりメッセージ	紙づまりの場所	内容	参照ページ
カミヅマリデス キュウシユニット	F	給紙ユニットで紙づまりを起こしています。	4-18 ページ
カミヅマリデス ヒダリカバー 1	G	左カバー部で紙づまりを起こしています。	4-21 ページ
カミヅマリデス ヒダリカバー 2	H	左カバー部で紙づまりを起こしています。	4-23 ページ
カミヅマリデス ヒダリカバー 3	I	オプションの左カバー部で紙づまりを起こしています。（PF-710、PF-750）	4-23 ページ
カミヅマリデス ウエカバー	J	上カバー部で紙づまりを起こしています。	4-23 ページ
カミヅマリデス フィニッシャ	K	オプションのドキュメントフィニッシャで紙づまりを起こしています。	ドキュメントフィニッシャ DF-710/730 の使用説明書
カミヅマリデス ナカオリユニット	L	オプションのドキュメントフィニッシャのブックレットで紙づまりを起こしています。	ドキュメントフィニッシャ DF-710 の使用説明書
カミヅマリデス メールボックス	M	メールボックスで紙づまりを起こしています。	ドキュメントフィニッシャ DF-710 の使用説明書

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については**使用説明書 応用編 1 用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。



注意：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないよう注意してください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

オンラインヘルプメッセージ

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、［?］キーを押してください。オンラインヘルプメッセージは ▼ キーで次の手順のメッセージが表示され、▲ キーで前の手順に戻ります。

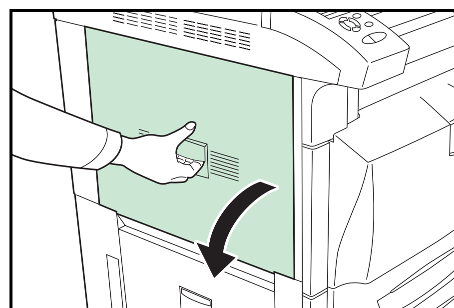
紙づまりの際はオンラインヘルプメッセージを利用して、紙づまりの処理をできます。

給紙カセットでの紙づまり

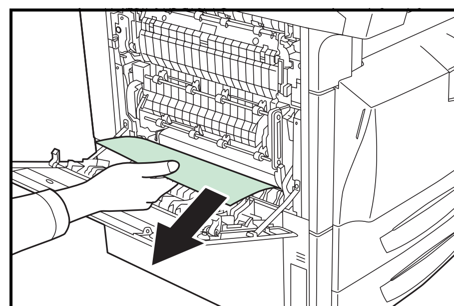
給紙カセット 1

給紙カセット 1 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

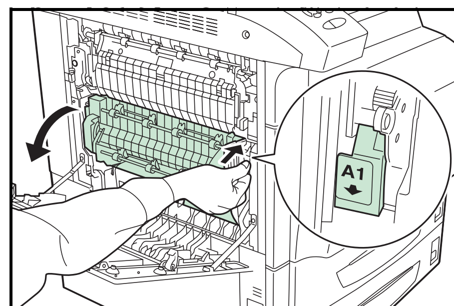
1 左カバー 1 を開けます。



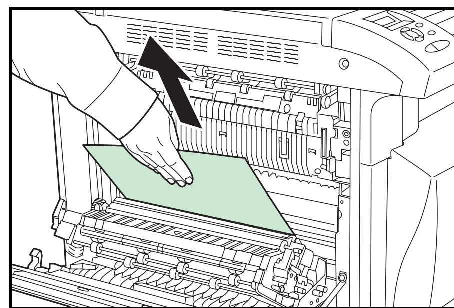
2 つまっている用紙があれば取り除きます。



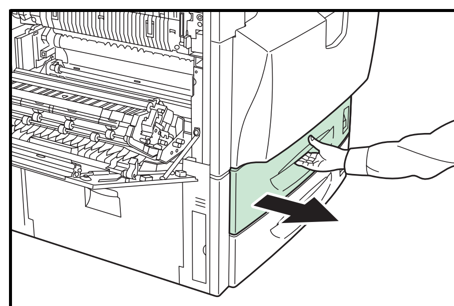
3 両面ユニット A1 を開けます。



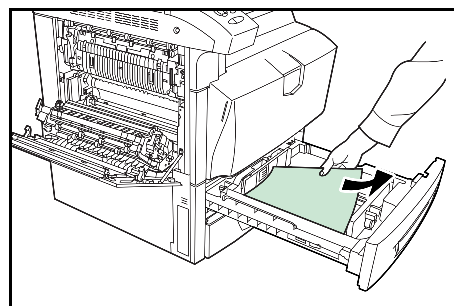
4　つまっている用紙があれば取り除きます。



5　給紙カセット 1 を引き出します。



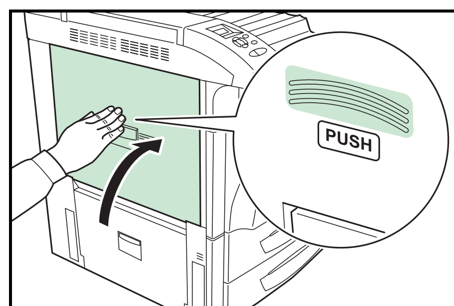
6　つまっている用紙があれば取り除きます。



7　給紙カセット 1 を静かに奥まで押し込みます。

8　両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めます。

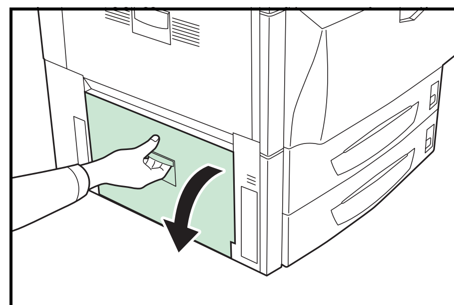
重要：左カバー 1 を閉めるときは、指定の箇所を押して、確実に閉めてください。



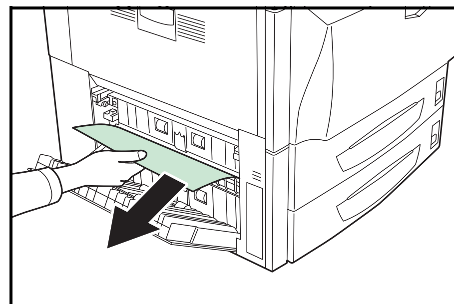
給紙カセット 2

給紙カセット 2 で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

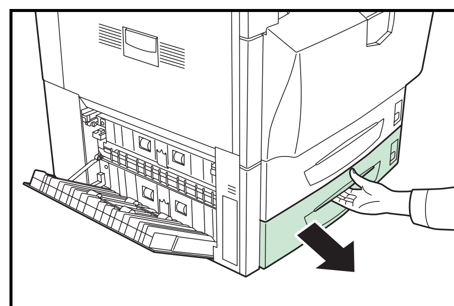
1 左カバー 2 を開けます。



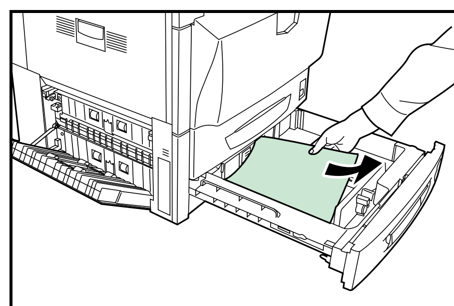
2 つまっている用紙があれば取り除きます。



3 給紙カセット 2 を引き出します。



4 つまっている用紙があれば取り除きます。



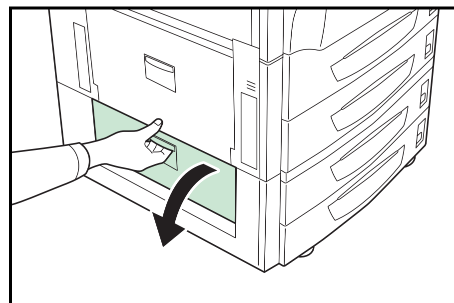
5 給紙カセット 2 を静かに奥まで押し込みます。

6 左カバー 2 を閉めます。

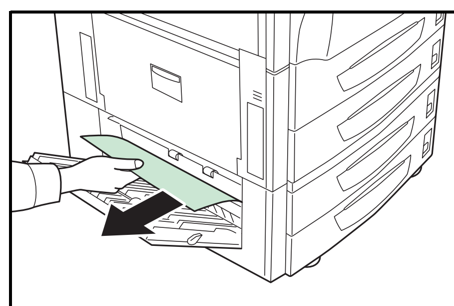
給紙カセット 3、4（オプション）

オプションのペーパーフィーダ（PF-710/PF-750）の給紙カセットで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

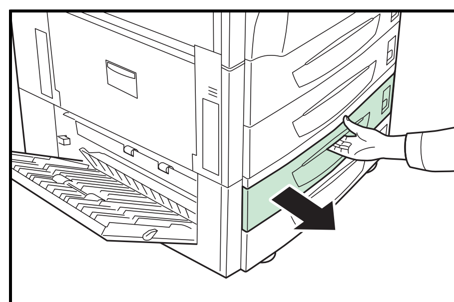
1 左カバー 3 を開けます。



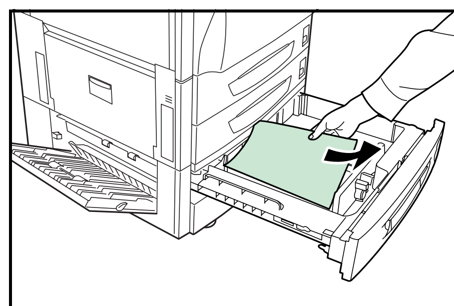
2 つまっている用紙があれば取り除きます。



3 使用していた給紙カセットを引き出します。



4 つまっている用紙があれば取り除きます。



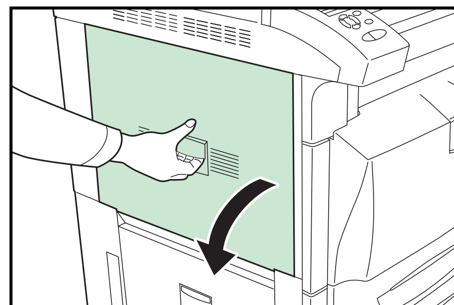
5 給紙カセットを静かに奥まで押し込みます。

6 左カバー 3 を閉めます。

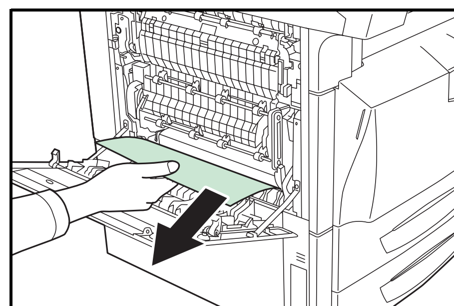
手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイおよび給紙ユニットで紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

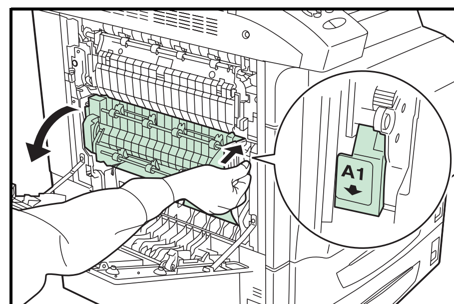
1 左カバー 1 を開けます。



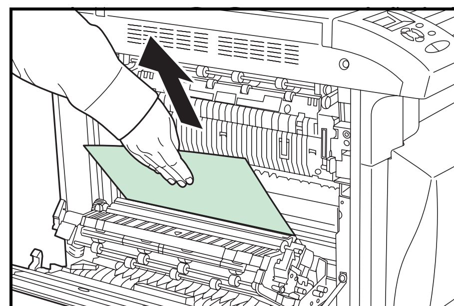
2 つまっている用紙があれば取り除きます。



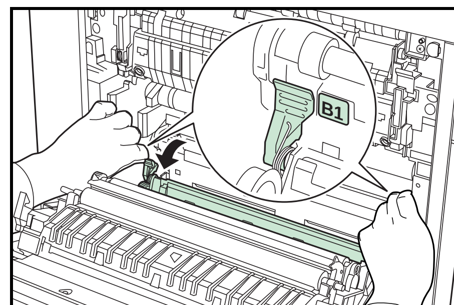
3 両面ユニット A1 を開けます。



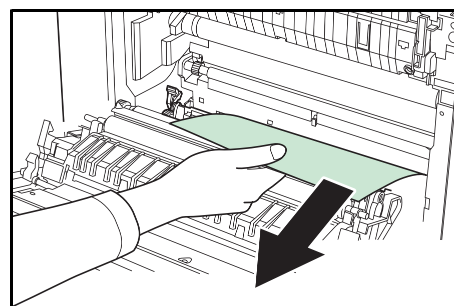
4 つまっている用紙があれば取り除きます。



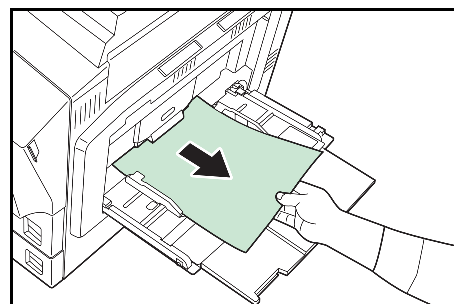
5　給紙ガイド B1 を開けます。



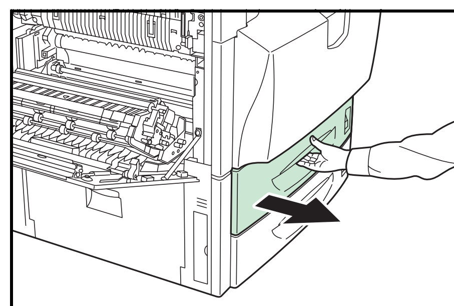
6　つまっている用紙があれば取り除きます。



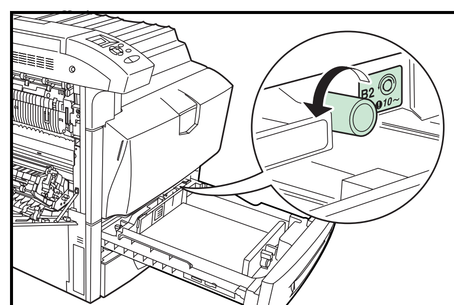
7　手差しトレイの用紙をすべて取り除きます。



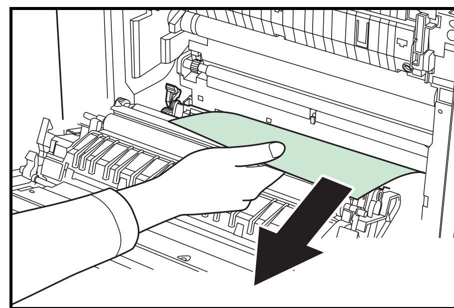
8　給紙カセット 1 を引き出します。



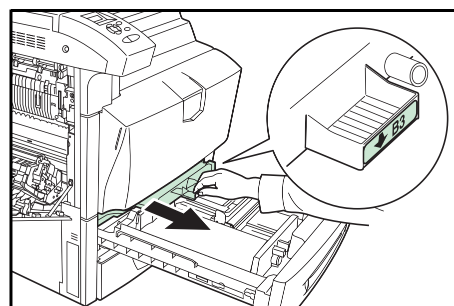
9　ハンドル B2 を左に 10 回以上回します。つまっている用紙が左カバー内部へ送られます。



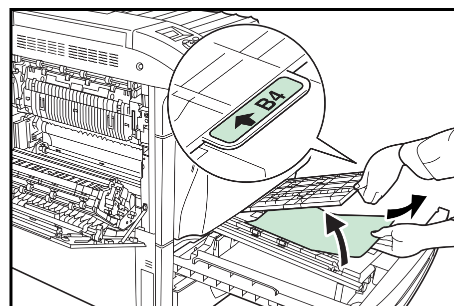
10 つまっている用紙を取り除きます。用紙が取り除けない場合は、次の手順に進んでください。



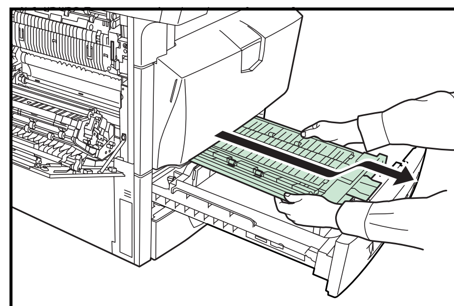
11 給紙ユニット B3 を引き出します。



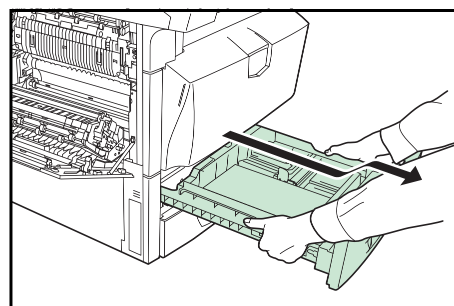
12 カバー B4 を開けて、つまっている用紙を取り除きます。



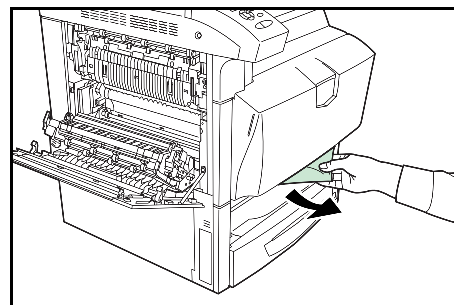
13 用紙が破れている場合は、給紙ユニット B3 をいっぱいに引き出し、少し持ち上げて取り外します。



14 給紙カセット 1 をいっぱいに引き出し、少し持ち上げて取り外します。



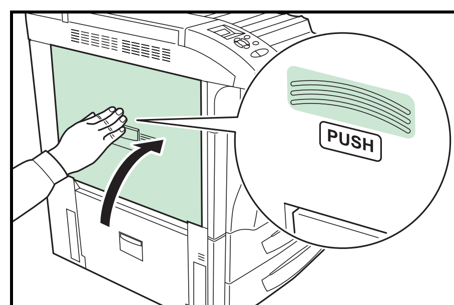
15 つまっている用紙を取り除きます。



16 給紙カセット 1 と給紙ユニット B3 を元どおりセットします。

17 給紙ガイド B1、両面ユニット A1 および左カバー 1 を閉めます。

重要：左カバー 1 を閉めるときは、指定の箇所を押して、確実に閉めてください。



18 手差しトレイに用紙をセットし直します。

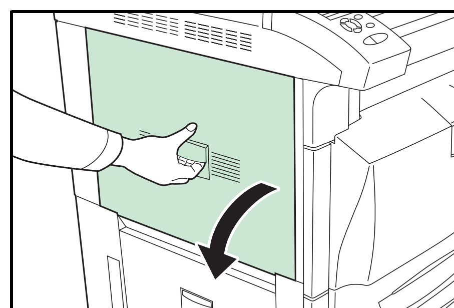
左カバー 1 内部での紙づまり

左カバー 1 内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

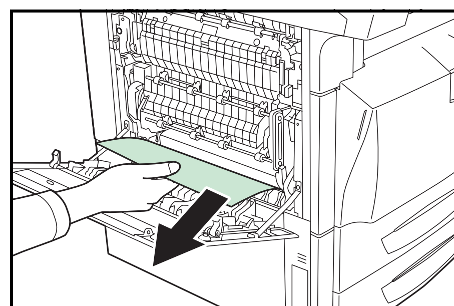


注意：定着部は高温になっています。やけどのおそれがありますので注意してください。

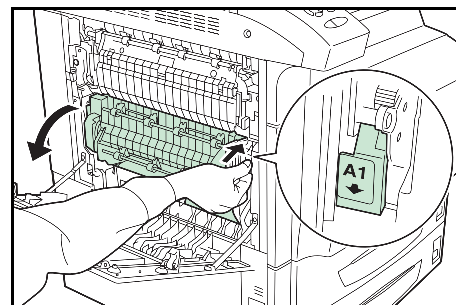
1 左カバー 1 を開けます。



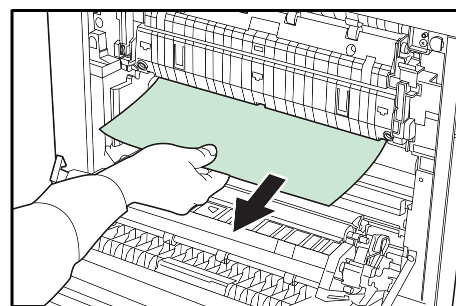
2 つまっている用紙があれば取り除きます。



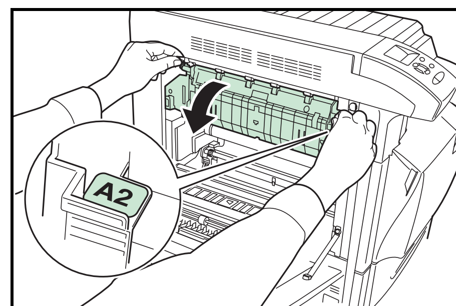
3 両面ユニット A1 を開けます。



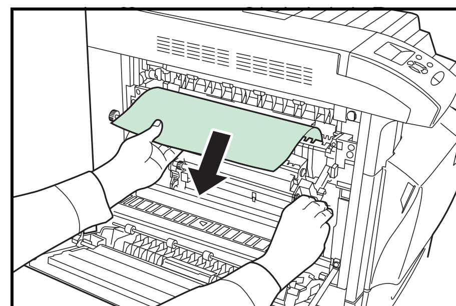
4 つまっている用紙があれば取り除きます。



5 定着カバー A2 を開けます。

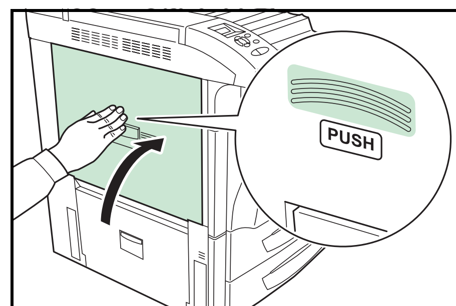


6 つまっている用紙があれば取り除きます。



7 定着カバー A2、両面ユニット A1、左カバー 1 を閉めます。

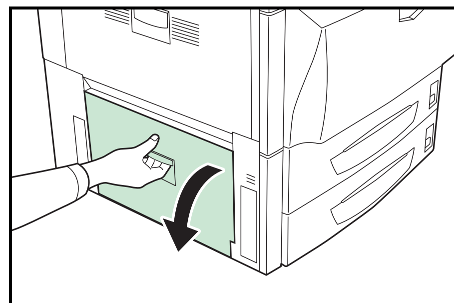
重要：左カバー 1 を閉めるときは、指定の箇所を押して、確実に閉めてください。



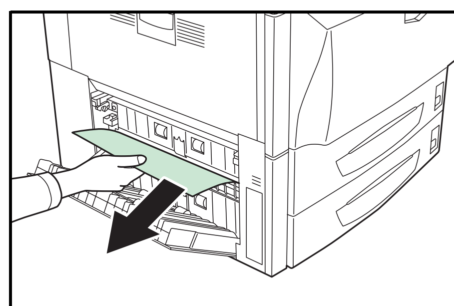
左カバー 2、3 内部での紙づまり

左カバー 2 または 3 内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

1 左カバー 2 または 3 を開けます。



2 つまっている用紙があれば取り除きます。

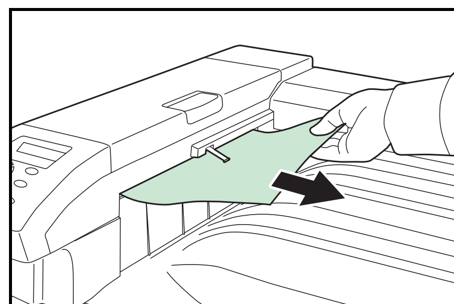


3 左カバーを閉めます。

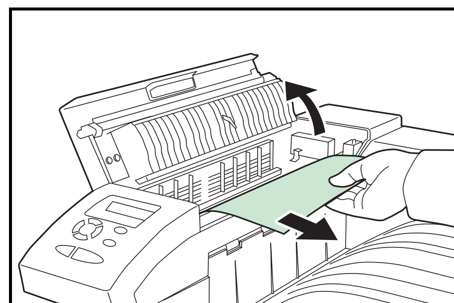
上カバー内部での紙づまり

上カバー内部で紙づまりが発生したときは、次の手順で用紙を取り除きます。

1 排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除きます。



2 上カバーを開けて、つまっている用紙があれば取り除きます。



3 上カバーを閉めます。

付録

ここでは、本機の仕様について説明します。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様
印刷方式		乾式電子写真方式（レーザ方式）、タンデム中間転写ベルト方式
印刷速度（カセット使用時）	片面印刷時	A3、B4：16 ページ / 分 A4、B5：32 ページ / 分
	両面印刷時	A3、B4：10 ページ / 分 A4、B5：25 ページ / 分
解像度		600 dpi
ファーストプリントタイム		カラー：7.9 秒以下 白黒：5.9 秒以下
ウォームアップ時間（22 °C、60%RH）	電源 ON から	約 45 秒以下
	スリープから	約 45 秒以下
CPU		PowerPC750GL-800MHz
メインメモリ		256 MB（最大 1024 MB）
OS		Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0、Microsoft Windows Server 2003 Apple Macintosh OS 9/X
インタフェース	パラレル	IEEE1284 準拠
	USB	Hi-Speed USB
	ネットワーク	プロトコルサポート：TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk
	オプション	ネットワークインタフェースカードおよびハードディスク（KUIO-LV）
メモリカードスロット		1
最大印刷許容ページ枚数（標準 A4 普通紙）		120,000 枚 / 月
用紙厚	給紙カセット	60 ～ 105 g/m²（片面、両面とも）
	手差しトレイ	60 ～ 220 g/m²
用紙サイズ	給紙カセット	A3、B4、A4、B5、A5、Ledger、Legal、Letter、Statement、Folio、Oficio II
	手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、A6、B6、Ledger、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C4、Envelope C5、ISO B5、Executive、Envelope #6-3/4、Envelope #9、はがき、往復はがき、8K、16K、Statement、洋形 2 号、洋形 4 号、Custom（98 × 148 mm ～ 297 × 432 mm）
用紙種類	給紙カセット	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、上質紙、カスタム*
	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙、上質紙、カスタム

項目		仕様
用紙容量	給紙カセット 1	500 枚（80 g/m^2、A4 以下）、250 枚（80 g/m^2、B4 以上）
	給紙カセット 2	500 枚（80 g/m^2）
	手差しトレイ	100 枚（80 g/m^2、A4 以下）、50 枚（80 g/m^2、B4 以上）
排紙トレイ容量		500 枚（80 g/m^2）
設置環境	温度	10 ～ 32.5 °C（ただし 32.5 °C 時は湿度 70 % 以下）
	湿度	15 ～ 80 %RH（ただし 80 % 時は温度 30 °C 以下）
	海抜	2,500 m 以下
	照度	1,500 lux 以下
電源		AC100 V、50/60 Hz、15 A
消費電力	最大消費電力	1,500 W
	通常使用時	740 W 以下
	待機時	180 W 以下
	スリープモード時	15 W 以下
稼動音**	プリント時	カラー：53.7 dB（A） 白黒：53.3 dB（A）
	待機時	43.8 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下
外形寸法	本体	幅 605 ×高さ 680 ×奥行き 670 mm
質量	本体	87 kg

*　任意に設定可能

**　ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

MEMO

J

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

KYOCERA

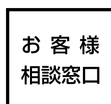
お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15
http://www.kyoceramita.co.jp

お客様相談窓口




0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

Rev. 1.1 2007.2
302HR56011